

2014年度 ヒットCM動向

CM 総合研究所／CM DATABANK（東京都港区 代表・関根心太郎）は、2014年度（2013年11月度～2014年10月度）のCM好感度 No.1 ブランドを発表するとともに、CM 好感度ランキング上位の顔ぶれをレポートいたします。

【8年連続は史上初! SoftBankがCM好感度No.1】

2014年度にCMをオンエアした全7707銘柄のうち、CM好感度No.1はソフトバンクモバイル／SoftBankであった。「白戸家」シリーズを軸に88作品を放送し、史上初となる8年連続の首位に輝いた。犬のお父さん、上戸彩、同社の熱血社員役の堺雅人を中心に、市村正親、斎藤工、リリー・フランキー、香川真司、“天使すぎるアイドル”として話題の橋本環奈など多彩なキャストの登場が注目された。また、吉永小百合が樹木希林、笑福亭鶴瓶らとスマートフォンで通話やメールをするシリーズや、感情認識パーソナルロボット“Pepper”を起用した作品など、バラエティ豊かな展開が世代を超えて支持を獲得した。

【ドラマ仕立てのシリーズCMが好調】

2位はKDDI／au。「チャンネルau」シリーズでは、モーニング娘。'14と森三中の大島美幸、黒沢かずこによる新ユニット“モリ娘。”や、きゃりーぱみゅぱみゅらが活躍した。auショップを舞台にした新シリーズには、松岡修造、柳原可奈子、福士蒼汰、杉咲花に加え、“おとくちゃん”役で子役の鈴木梨央が出演。所ジョージがプライベート式電子マネーの『au WALLET』を訴求する作品も好調だった。3位はトヨタ／TOYOTOWNキャンペーン。ジャン・レノ、妻夫木聡、前田敦子らが出演する『ドラえもん』の実写版CMでは、鈴木梨央がのび太とジャイ子の娘を演じる作品などがヒットした。架空の街「TOYOTOWN」を舞台に堺雅人、木村拓哉、満島ひかり、笑福亭鶴瓶らが出演するシリーズには指原莉乃 with AKB48 Team8や、2代目こども店長役の加藤憲史郎も加わった。また、ヒュー・ジャックマンが日本の名曲を英語で歌いながら運転する作品も話題となった。

4位はNTTドコモ／NTT DOCOMO。渡辺謙、堀北真希、石原さとみ、松坂桃李などの豪華キャストで連続ドラマのようなシリーズを展開した。日本コカ・コーラ／ジョージアは前年度の69位から5位に上昇。山田孝之が海の家従業員を演じる作品をはじめ、銀行員、ラーメン職人などさまざまな職業人を演じ分けるシリーズが共感を集めた。

6位はサントリー食品インターナショナル／ペプシネックスで、前年度の315位から躍進を遂げた。「Forever Challenge.」をテーマに、小栗旬扮する桃太郎が強大な鬼に挑む姿を描き、映画さながらの迫力ある映像や音楽が大きな反響を呼んだ。7位はダイハツ／Tanto。菅野美穂、石倉三郎、青木崇高が3世代親子を演じるシリーズでは、幼い娘の赤ちゃんがえりを描いた作品がヒットした。雑誌編集者役の豊川悦司と綾野剛が急勾配の“ベタ踏み坂”を運転するCMも話題となった。8位は全国都道府県及び全指定都市／ロト7。柳葉敏郎と妻夫木聡がビジネスマンを演じるドラマ仕立てのシリーズを展開。人事異動による役職の逆転など、コミカルなストーリーと演技で視聴者を引きつけた。

9位はトライグループ／家庭教師のトライ。アニメ『アルプスの少女ハイジ』の映像に、オリジナルキャラクターの“トライさん”が登場する内容で、子どもだけでなく母親世代の支持も獲得した。10位はサントリー食品インターナショナル／ボス。『笑っていいとも!』を思わせるバラエティ番組の司会者役のタモリと宇宙人ジョーンズの豪華共演が注目された。ランキング上位にはドラマ仕立てのシリーズCMが目立ち、多彩なキャストやインパクトのある映像で話題を集めた展開が見受けられた。

2014年度 銘柄別CM好感度TOP10（全7707銘柄）

総合順位 (前年順位)	企業名／銘柄名	代表作品名
1 (1)	ソフトバンク モバイル株式会社／SoftBank	渋谷で
2 (2)	KDDI株式会社／au	特訓
3 (20)	トヨタ自動車株式会社／TOYOTOWN	どこでもノア のび太とジャイ子の娘
4 (3)	株式会社 NTTドコモ／NTT DOCOMO	U25
5 (69)	日本コカ・コーラ株式会社／ジョージア	海の家従業員
6 (315)	サントリー食品インターナショナル株式会社／ペプシネックス ゼロ	桃太郎「Episode. ZERO」
7 (26)	ダイハツ工業株式会社／Tanto	抱っこ
8 (8)	全国都道府県及び20指定都市／ロト7	話は変わる篇 第5話
9 (9)	株式会社トライグループ／家庭教師のトライ	夏、ザワつくハイジ
10 (4)	サントリー食品インターナショナル株式会社／サントリーコーヒー プレミアムボス	プレミアム対談

- ・2014年度のCM展開：1918社 7707銘柄 16720作品（東京キー5局）
- ・集計期間：2013年11月度～2014年10月度（2013年10月20日～2014年10月19日）
- ・関東一都六県在住の一般モニター男女3000人の「月例CM好感度調査」の12カ月分より集計
- ・データ使用の際は「CM総合研究所調べ」の明記をお願いします。